

..... 編集後記

◆ 4月1日付けで小玉喜三郎前編集委員長と交代しましたが、実質的に編集にたずさわるのは今月号からです。地質学雑誌の編集に10年ほど関係していましたが、地質ニュースは学会誌とはもちろん異なる編集方針ですので1から勉強するつもりで頑張りたいと思います。地質調査所としても現在出版物検討委員会を設け、地質ニュースを含めた出版全体の見直しを図っている現況です。今まで以上に皆様方のご支援・ご協力を宜しく願います次第です。

◆ 時代のキーワードの1つが「国際化」であることに異論はないと思います。しかし、地質調査所という組織や地球科学という研究分野にとって「国際化」とはいかなる実態を持っているものか、また持つべきものであるか結論は未だ十分には得られていません。本号では地質調査所がその設立時から深く関わってきた国際機関の1つであるCCOPを取り上げ、国際化を考えるよすがとしたいと意図しました。ご意見があればお寄せいただきたいと存じます。また、今年9-10月には地質調査所が中核となってCCOP総会や関連する行事をつくばで開催する予定で準備が進められています。あわせて本特集

の意義をご理解いただければ幸いです。

◆ 放送大学の伊津野郡平さんには地球環境や生物進化を語る上で大変興味深い現世ストロマトライトの形態形成についての原稿をお寄せいただきました。内容はもちろん素晴らしい写真の数々があり、その幾つかはグラビアで紹介させていただきました。

◆ 地質調査所OBであり、石油備蓄基地など地下空間利用について見識の深い星野一男さんに地下深部利用の状況について語っていただくとともにわかりやすいカラーチャートをグラビアとして使わせていただきました。

◆ ニュースにもあるように地圏情報棟も完成し、地質標本に関する試資料の充実が一層期待されるころですが、今月からできるだけ収蔵標本を少しずつでもグラビアで紹介していこうと思います。地球科学の振興・啓蒙に地質調査所がいくらかでも貢献する道の1つとなるのではないのでしょうか。もちろん紹介されたい世界各地の地学に関するカラー写真などがありましたらどしどしお寄せ下さい。

〈編集委員長 加藤碩一記〉

地質ニュース編集委員会

委員長：加藤碩一

副委員長：佐藤興平

幹事：宮崎光旗・奥村公男・石井武政

委員：今井登・岡村行信・杉原光彦・内田利弘・

野田徹郎・吉井守正・豊遙秋・佐藤岱生

顧問：林暉・石原舜三・大嶋和雄・高橋博

事務局：総務部業務課広報係（山崎浩・清水真寿美）

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ

| | |
|-------------|------------------------------|
| 地質ニュース | 第492号 1995年8月号 |
| | 定価 ¥ 770 千実費 |
| 1995年8月1日発行 | |
| 編集 | 工業技術院地質調査所 |
| 発行人 | 株式会社実業公報社 |
| | 代表者 林光生 |
| 発行所 | 株式会社実業公報社 |
| | 東京都千代田区九段北1の7の8 |
| | Tel. (03)3265-0951 (代表) 〒102 |
| | 振替口座 00110-6-32466 |
| | 麹町局私書箱第21号 |
| 印刷 | 小宮山印刷工業株式会社 |

©1995 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。